

# 咳

晩秋のこの時期、咳  
が長引いてなかなか治  
らないといったご相談  
が多くなります。

中医学では  
咳のしかた、  
痰の様子、全  
身症状から合  
う咳の処方選  
んでゆきま  
す。

悪寒、時に発  
熱を伴い、のどの痛み  
や頭痛、薄い痰のよう  
な場合は寒邪が体に入  
り込んだばかりの状態  
なので、麻黄湯や小青  
竜湯で、寒邪を外へ追  
い出したり、肺を温め

ら、小陥胸湯加減で、胸

の奥まで進んでいる状  
態を内側からきれいに  
整えてゆきます。

同じように胸の奥か  
らの咳でも、痰が白い  
状態でしたら、二陳湯  
や三子養親湯などを使  
用します。

阿部 佐知子の  
国際中医師  
続  
漢方  
豆知識



## <第五十二話>

また、力  
が低下した  
状態であれ  
ば、生脈散  
や蘇子降気  
湯、八味丸  
などで体力  
や免疫力を  
つけながら咳を緩和し  
てゆきます。

.....

◆飯島仁生堂薬局本店

足立区千住1-29-2

☎38881-2273

http://www.jinseido.co.jp